

田んぼの生き物探そう

# カブトエビ捕まえた

太田・自然  
ふれあいク

## 子供たちが学習



網を持って水生動物を探す会員たち

同クラブは市のシンボル、金山の自然を楽しんだり、魅力を発信する目的で一九九九年に発足した。親子三十人が参加し、ぐんまこどもの国を活動拠点に月一回、自然観察や自然を活用したクラブ作りなどに取り組んでいる。

今回は「田んぼの生き物と水辺の生き物」が学習テーマ。子供たちはあぜから田んぼの中をじつと見つめ、網でカブトエビやオタマジャクシ、ヤゴなどを捕まえて観察した。

藤坂会長は「農業の影響が減り、水生動物の種類が増えている」と語った。参加した石井大地君（足利葉鹿小一年）は「オタマジャクシやヤゴが捕れた。家の周りだまに

自然ふれあいクラブ  
(藤坂江里会長)の子供

たちが八日、太田市長手町の田んぼで、カブトエビなどの水生動物を捕獲、自然と触れ合った。

捕ることかあそびと楽しい」と話していた。